



● 地域提案型

平成19年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	市民の環境意識向上を目指す環境教育 Collaborative Environment Education with Local Resources
3. 事業の背景と必要性	<p>三重県では、主に四日市地域で蓄積された産業公害防止に関する経験、対策、技術を移転することを目的に、友好提携している中国河南省を中心に国際環境協力交流事業を実施してきた。しかし、昨今の環境問題の質の変化に伴い、市民が日常生活において知識を蓄え、意識を向上させ、自主的な行動を行っていくことが求められており、その基礎となる環境教育の重要性が高まってきている。</p> <p>このため、「地域資源を活かした協働による環境教育」をテーマに平成17～19年度にかけて、河南省内にモデルとなる3市（安陽、洛陽、焦作市）を設定し事業を展開してきた。</p> <p>この分野での事業取組は双方にとって初めての取組であったが、河南省内での体制が整備され、具体的な事業に着手し始めている。河南省環境保護局はこの事業をさらに強化し、省内全域に拡げ、市民の環境意識を向上させ、河南省全体の環境保全を進めていくことを計画している。また、三重県としても、この分野における国際協力を引き続き進めていきたいと考えている。</p>
4. 事業の目的	河南省内において環境教育に資する事業を展開し、省全体における市民の環境意識向上を図り、市民の自主的な環境保全活動が展開されるようにする。
5. 対象地域	河南省内のモデル3市である安陽、洛陽、焦作および3市の取組をモデルとして展開する省内の他15直轄市
6. 受益者層	河南省市民
7. 活動及び期待される成果	<p>【活動】</p> <p>（1年次）市の環境教育を担当する中堅以上の意志決定力を持つ担当者に対して、環境講師団成立、協働取組等を内容とする研修を実施する。また、その状況確認、意見交換のため講師を派遣する。</p> <p>（2年次）各市で成立した環境講師団において環境教育を実践する中心的人材に対して、環境教育を展開する上で必要となる知識や実務等を内容とする研修を実施する。また、各市に講師を派遣し、各市の取組を支援するためのセミナー開催や意見交換を行う。</p> <p>（3年次）この事業を広く省内に普及していくために、各市において育成された環境指導員の中心的人材の受入研修を実施。また、この事業に対する検証・普及を目的に、講師を派遣する。</p> <p>【期待される成果】</p> <p>（1年次）環境講師団が成立し、環境指導員育成のための研修が省内において実施され、その環境指導員が活動するための拠点施設が整備される。</p> <p>（2年次）環境講師団、環境指導員の数を増やし、拠点施設等での活動が社区、学校、企業など省直轄市の様々な箇所で開催される。</p> <p>（3年次）1年次、2年次の活動を更に強化するとともに、省及び市においてこれらの活動を検証し、奨励する仕組みが構築される。</p>
8. 実施期間	平成20年7月～平成23年3月
9. 事業の実施体制	<p>河南省環境保護局を実施機関とし、省内のモデル都市内で実験現場として（企業、学校、コミュニティ等）環境教育拠点を整備し、教員の養成、市民への啓発を行う。将来的に他の都市への適用拡大を図る。</p> <p>以上を3カ年の事業期間の中で、四日市市における研修員の受入と専門家の現地派遣を交互に行い、支援していく。</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	三重県（三重県）
2. 対象国との関係、協力実績	平成17年度～平成19年度「中国河南省地域資源を活かした協働による環境教育」（地域提案型）を実施済み。